

単元名 民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう 配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。
- (2) 声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わりを理解し、囃ことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

### 標準的な展開例

10260301\_001

【教材名】ソーラン節 かりぼし切り歌 ◆谷茶前

(P. 28～P. 31)

【準備等】ワークシート、デジタル教科書、範唱音源

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「ソーラン節」の歌う目的や作業の動作との関連を理解し、「ソーラン節」の表現を工夫する。</p> <p>★「ソーラン節」を歌ってみよう。</p> <p>○「ソーラン節」の歌詞の内容を理解し、旋律を歌う。</p> <p>○「ソーラン節」の範唱を鑑賞し、自分たちの表現との相違点を整理する。</p> <p>○声の出し方や音頭一同形式による表現を理解し、「ソーラン節」の表現を工夫する。</p> <p>2 「ソーラン節」と「かりぼし切り歌」を比較し、共通性や固有性を考え、歌い方の特徴を理解して表現をする。</p> <p>★「かりぼし切り歌」を歌ってみよう。</p> <p>○「かりぼし切り歌」の旋律を、P. 29の「民謡譜例」を参照しながら聴き取る。</p> <p>○「ソーラン節」との共通性、またそれぞれの固有性についてグループで話し合い、ワークシートにまとめて発表・交流する。</p> <p>○「かりぼし切り歌」の範唱を参考にしながらグループごとに表現を工夫する。</p> <p>○グループごとに「かりぼし切り歌」を発表する。</p>	<p>・手拍子を打ちながら「ソーラン節」を表現させてもよい。</p> <p>・自分たちの表現と比べて気がついたことをワークシートにまとめさせる。</p> <p>【評】声の出し方や音色、表現などを聴き取る活動を通して、「技能」を評価する。</p> <p>・グループごとに「ソーラン節」の背景を調べ音頭一同に分かれて表現させる。</p> <p>・グループごとに表現を工夫して、「ソーラン節」を発表させる。</p> <p>必要に応じてニシン漁の様子や「沖揚げ音頭」などを紹介してもよい。</p> <p>【評】自分たちのソーラン節を工夫して発表する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・デジタル教科書を活用し、楽譜を提示し、拍節の現れ方や旋律装飾を学級全体で確認させる。</p> <p>・「かりぼし切り歌」の譜例を用意し、工夫した点は楽譜に直接記入させてもよい。</p> <p>【評】自分たちの表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】工夫した表現を発表する活動を通して、「技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

### 【 備 考 】

「ソーラン節」は、もともとニシン漁で歌われた仕事歌で、声の出し方や旋律装飾の仕方、歌い合わせ方（音頭一同形式）などの特徴を感じ取って表現を工夫することができる。また、同じ仕事歌である「かりぼし切り歌」と比べ、拍節の現れ方や旋律の装飾やまとまりなどから特徴を理解し表現を工夫する。「谷茶目」では、言葉の特性、歌や伴奏との合わせ方などの特徴をとらえて学習する。

【共通事項】音色・リズム・旋律・テクスチャ・構成